













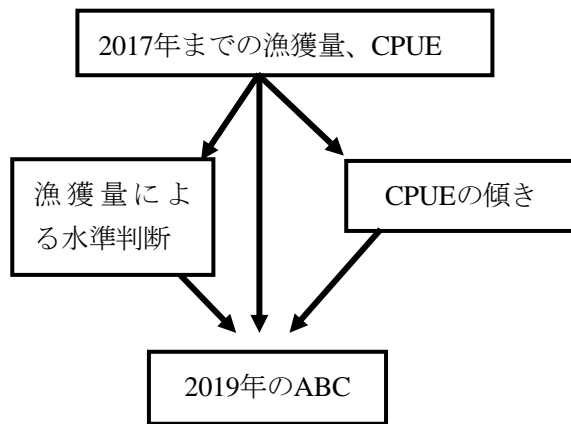






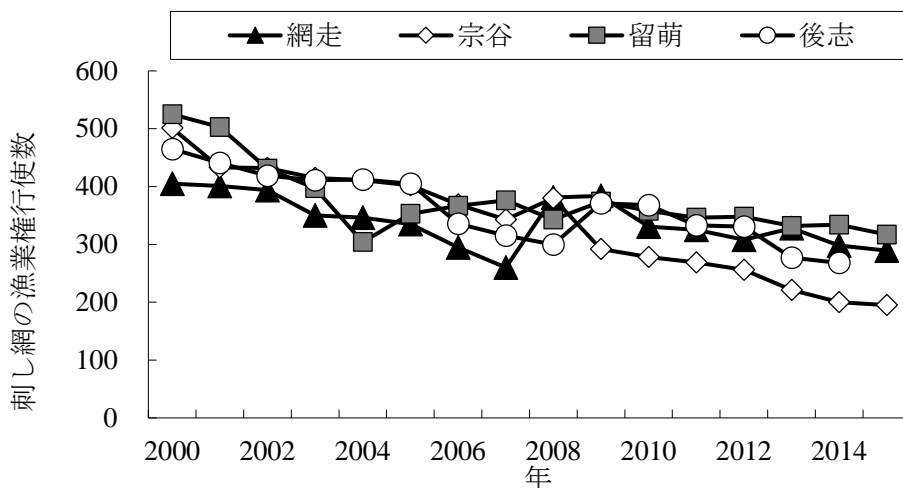


補足資料1 資源評価の流れ

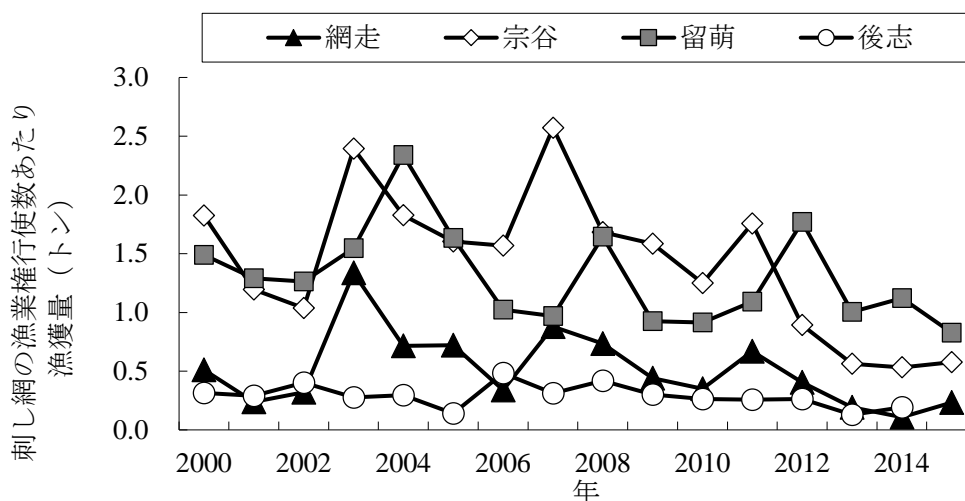


## 補足資料2 沿岸漁業の漁業権行使数の推移

沿岸漁業の漁獲努力量の参考として、各振興局でとりまとめられている第二種共同漁業権に属する刺し網漁業の漁業権行使数の推移を補足図2-1に示した。漁業種類については、本系群を主に漁獲する「かれい刺し網」を対象とした。年については現時点で複数の地域で連続してデータが比較できる2000～2015年を対象とし、地域は網走、宗谷、留萌、後志振興局を対象とした。なお集計時期は地域や年によっては1～12月の年集計でない場合もあるが、月ごとの分離や再集計はできないため、ここでは各年度資料に掲載されている値を各年の代表値とみなし、図の横軸は年で統一した。また後志は2014年までの集計である。これらの漁業権行使数は長期的にみても減少傾向にある。一方、各振興局の同漁業によるマガレイの漁獲量（年集計）をこの漁業権行使数で割った値は、地域によって傾向が若干異なるものの、長期的には概ね横ばいで推移している（補足図2-2）。

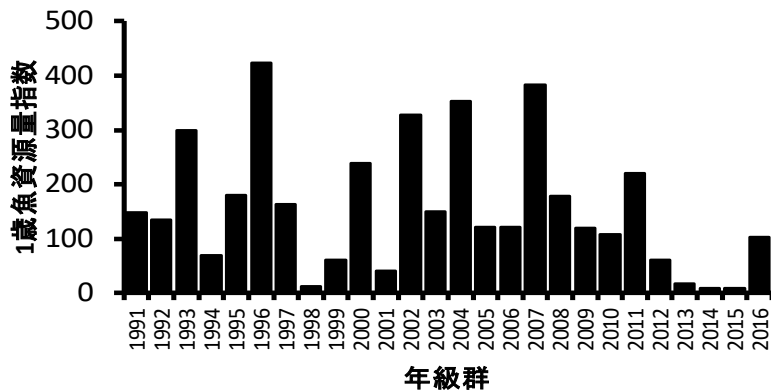


補足図2-1. 刺し網漁業の漁業権行使数の推移 網走は外海、サロマ湖、33-35号の計、留萌と後志（積丹以東）は単有、共有の計。数値は各振興局発行「オホーツクの水産」「宗谷の水産」「留萌の水産」「後志総合振興局管内水産統計資料」の各年度資料およびその先行資料より得た。

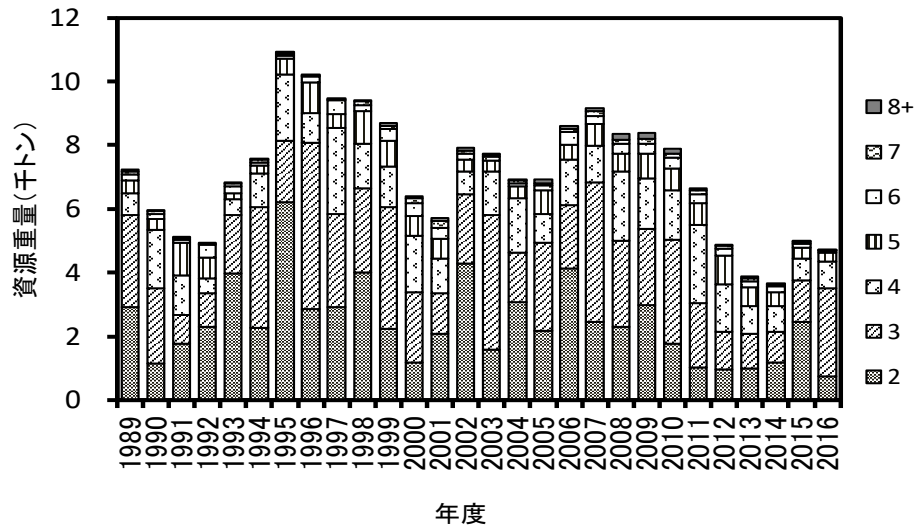


補足図2-2. 刺し網漁業の漁業権行使数あたりのマガレイ漁獲量の推移

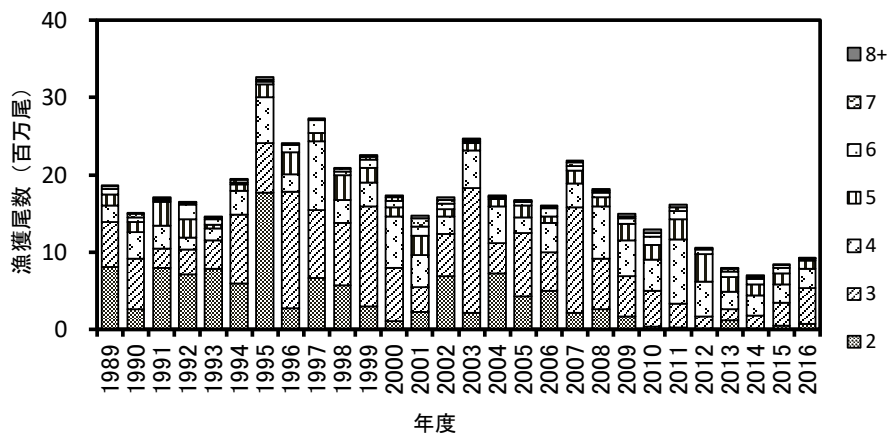
補足資料 3 マガレイ（石狩湾以北～オホーツク海）について道総研がとりまとめた幼魚密度調査と Pope の近似式を用いたコホート解析の結果



補足図 3-1. マガレイの幼魚 (1 歳魚) 資源量指数 (中央・稚内・網走水産試験場 (印刷中) より引用)



補足図 3-2. マガレイの資源量 (2 歳以上) 図右横の凡例は年齢を示す。年度は 7 月 1 日～6 月 30 日の漁期年。(中央・稚内・網走水産試験場 (印刷中) より引用)



補足図 3-3. マガレイの年齢別漁獲尾数 (2 歳以上) 図右横の凡例は年齢を示す。年度は 7 月 1 日～6 月 30 日の漁期年。(中央・稚内・網走水産試験場 (印刷中) より引用)

## 引用文献

中央・稚内・網走水産試験場（印刷中） マガレイ(石狩湾以北日本海～オホーツク海海域).  
2018 年度水産資源管理会議評価書, 北海道立総合研究機構水産研究本部,  
<http://www.fishexp.hro.or.jp/exp/central/kanri/SigenHyoka/Kokai/>.